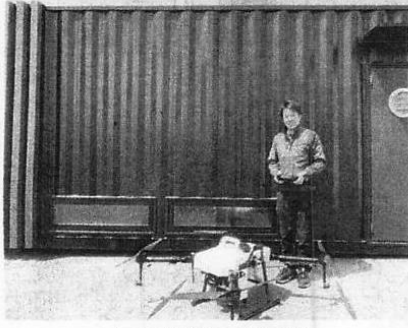


名備運輸 ドローン事業

本格展開に向けて前進

【愛知】事業再構築補助金を活用し、ドローン事業に新規参入した名備運輸（丸川靖彦社長、小牧市）に、このほど農業散布用ドローンの第一号機が納入された。本社横にはコンテナ事務所も設置され、今年度は事業の本格展開が期待される。

【愛知】事業再構築補助金を活用し、ドローン事業に新規参入した名備運輸（丸川靖彦社長、小牧市）に、このほど農業散布用ドローンの第一号機が納入された。本社横にはコンテナ事務所も設置され、今年度は事業の本格展開が期待される。



丸川翼取締役は「2人体制で臨み、まずはスクーリング卒業生の散布業務を手伝う形で」

次の50年に向けて人に優しい物流企業、社会的役割を果たす企業を目指す「ME I Billage（メイビレッジ）構」

想」を打ち立て、その一つとしてドローン事業に着手。農業散布のほか災害支援等にも対応できるよう、ドローンスクールDSA（梅原丈嗣代表）の協力を得てドライバーら8人を操縦士として育成してきた。

丸川取締役は「これから50年、いろいろなことに挑戦していききたい。ドローンでの橋や鉄塔の点検業務も需要はあるが人手が足りないという話を聞く。ゆくゆくはそういった部分も手伝えれば」と話し、今後の普及に備えて操縦技術を高めていききたいことにも言及した。

（富田 香）